

努力事項解説 その2 (小学校特別活動)

活動内容 (1)「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開するために課題とされていることについて、それを具体的にどのようにしていけばいいか考えています。

十分展開するために、次の課題を解決していきましょう!

4 教室に学級活動コーナーが設けられていますか?

これについては、小学校学習指導要領解説特別活動編に次のように書かれています。

児童が自発的、自主的に活動できるように、学級の教室環境や学校の施設等を有効に生かすよう工夫することが必要である。例えば、児童が自分たちで自由に運営する学級活動コーナーや活動の事実等の作品を展示する場所を設けるなどが考えられる。

(小学校学習指導要領解説特別活動編 第4章 指導計画の作成と内容の取り扱い 2 内容の取り扱いについての配慮事項 2 学級活動の取り扱い) (P.118)

学級活動コーナーを設けるのは、児童の自発的、自主的な活動が常時行われるようにすることがねらいです。具体的には次のようにしてみてもいいでしょうか。

1 掲示の内容や方法を工夫しましょう。

(1)「わくわく広場」、「みんなの広場」など、親しみやすいネーミングで、掲示するスペース及び、長机など品物を置くスペースを準備し、教師の適切な指導の下に、掲示の内容や運営を児童に任せる。

① 学級会コーナーを設置して、次のものを準備しておきましょう。

- ・ 議題収集用具（議題を入れる箱、議題を書く用紙類、マジックペン、等）
- ・ 活動用具（用紙類、マジックペン、セロテープ、はさみ、のり、等）
- ・ 学級会で決定して行った楽しい集会活動の記録（写真）等（楽しいコメント付き）

② 係コーナーを設置して、次のものを掲示しましょう。

- ・ 年度当初、係ごとにメンバーの写真とともに活動内容を掲示する。
- ・ 実際の活動の様子、工夫改善していること、みんなにお願いしたいこと、等を次々と掲示していく。

※ メンバー表や顔写真と活動計画だけの掲示では、常時活動とはなりません。

2 「学級のうた」を決めて集会や学級会の最初に歌うなどして、学級への所属感や行事への期待感を高めましょう。



次回は、5の「当番活動と係活動の違いを踏まえて指導していますか？」について考えていきます。

7月12日（金）頃アップの予定です。